



12月の説教より

1月の聖書箇所は「使徒行伝」が中心となりますが、クリスマスは12月で終わったものではありません。羊飼いたちは生まれて間もないイエス様に、馬小屋でお会いしましたが、「星に導かれてやってきた博士たち」がイエス様と会ったのは、多くの研究者たちによれば、どうやら1月、ちょうど2週間程たった頃らしいのです。

さて、12月26日のCSの説教は、羊飼いやり少し遅く、そして博士たちよりも少し早くにイエス様にお会いしたのであるう「シメオン」という老人の話でした。心から神様を信じるシメオンは、人々が罪から救われる日を待ち望んでいましたが、更には「救い主を見るまでは死なない」との預言を受けていました。人は、なかなか安心して死ぬことは出来ないものです。「死んだら私はどうなるの?」という心配と同時に、この世に残していく人への心配があります。シメオンも「神様に対する人々の罪深さ」を考えると安心しては死ねそうにありませんでした。神様はその思いに心えて下さり、そのような預言を下されたのでしょ。そして、預言通りシメオンは幼子イエス様にお会いし、信仰のゆえにその幼子が「救い主だ」と分かりました。そして「これで、私は安らかに死ぬことが出来ます」と神様を讃美しました。このシメオンの言葉は、現在、歌にもなっています。そして、なんと素晴らしいことでしょう、今イエス様を知っている私たちも、イエス様を救い主と信じるならば、日々シメオンのように讃美出来るのです。

クリスマスは、新しく迎える年に向けての、その確認の時とも言えるかもしれません。
(文: 村上ま)

1日 元旦礼拝 10:30 ~ もちろん、誰でも出席できます。

2日 お誕生会 1月生まれのお友達、お誕生日おめでとう!

祝福のお祈りとお誕生会、プレゼントがあります。皆でお祝いしましょう。

*****報告*****

12月19日の合同礼拝では、CSから6人、また礼拝後のクリスマス会には3人参加しました。

25日、市川先生によるクリスマスオルガンコンサート(中越地震被災者のためのチャリティー)には大人と子供合わせて44人も来てくださいました。しかも、そのうち半分以上の方々は、日曜日の礼拝に来たことのない人たちでした。様々な行事を通じて、一人でも多くの人がここに教会があることを知り、イエス様を信じる切っ掛けとなりますように。

6年生の先輩たちの進路のために、お祈りしましょう。

1月のメッセージの聖書箇所

2日	使徒行伝 19:1 - 41
9日	" 20章
16日	ロ-マ1:1 - 15、コリト 1:1 - 9
23日	使徒行伝 21,22章
30日	" 23 - 26章



今月の暗唱聖句

「みことばは、あなたがたを育成し、すべての聖なるものとされた人々の中であって御国を継がせることができるのです。」
(使徒行伝 20:32)